

## 4月再・市長選 再び立候補予定者で公開討論会

4月13日(土)午後6時30分～ 生涯学習センター801

泉房穂市長の暴言・辞職・再選により、4月14日告示の統一自治体選挙後半戦で再び市長選挙が行われることになりました。泉市長は3月18日の初登庁後の記者会見でこの選挙に出馬することを早々と表明しました。現時点で対抗馬はまだ不明ですが、市民自治あかしは3月選挙に引き続き「立候補予定者による公開討論会」を4月13日(土)午後6時30分～9時、アスパア明石8階の生涯学習センター801号室で開催することになりました。

3月26日には市長に出席要請書を提出して当初は11日開催で準備をしてきましたが、市長の日程がつかず、告示日ぎりぎりの開催になりました。新たな出馬表明があり次第、出席を要請します。

3月市長選挙に際して市民自治あかしは3月2日に出馬表明していた候補予定者3氏の出席のもとに公開討論会を開催しましたが、泉氏は「謹慎中の身で、そのような立場にない」として出席していませんでした。このため、泉氏には「市民マニフェスト」に対する政策面での考え方も聞くとともに、1月末以降の一連の経緯についても説明を求める予定です。

### 立候補者の人数にかかわらず、討論会は開催します

公開討論会は、当日までに立候補を表明した候補予定者や出席者の人数にかかわらず、開催します。明石市の向こう4年間の市政を託す最も重要な機会に、市のリーダーとなるべき人の考え方や基本姿勢、具体的な政策を市民が確認することが、市民自治のまちづくりの基本になると考えるからです。

多数のご参加を期待します。入場無料。

統一自治体  
選挙前半戦

### 県議会選挙(明石市選挙区)は北口氏が参戦し7名

統一自治体選挙の前半戦が3月29日に始まり、兵庫県では県議会議員選挙と神戸市議選が4月7日投・開票の日程で進んでいます。

明石市選挙区(定数4)では3月市長選で敗退した北口寛人氏が告示日間際に立候補を表明し、7名による激戦になりました。7日に投・開票されます。

兵庫県議会の定数は86。39の選挙区に127人が立候補したが、郡部の一人区を中心に15の選挙区が無投票で当選が決まった。当選者の大半は自民党公認または推薦の現職。一人区は過半数の得票がなければ当選できず、いわゆる“死票”が多い。都市部の県で唯一、自民党が過半数の議席を占める事情と新人が出にくい構造を露呈した。明石のような4人区だと少数政党や無所属でも当選が可能になる。(HP「自治体議員選挙、投票率低下の悪循環」参照を)

#### 県議選立候補者

明石市選挙区・定数4

北口寛人 53 無元  
伊藤勝正 52 公現  
福原由加利 31 共新  
岸口 実 54 維元  
松本隆弘 56 自現  
中西礼皇 39 立新  
横山伸吾 33 無新

# 市議選候補予定者12氏ずらい、3つの質問に沸く

## 市議選で初の「立候補予定者による公開討論会」を開催



14日に告示される統一自治体選挙の後半戦、市長選挙とダブルで行われる明石市議会議員選挙に立候補を予定している12名の現職と新人が出席して、明石市では初めての「市議選公開討論会」が3月24日夜、明石市民会館中ホールで開催されました。

連絡先等が判明した38名の予定者全員に出席の案内状を出し、30名から出欠の返事をいただきました。欠席の返信のあった18名のうち9名からは他の会合等と重なった等と欠席の説明がありました。

また、市長選挙終了後1週間しか周知期間がなかったことなども影響して、参加した聴衆は35名程度と少なかったのは残念でした。

討論会では事前に用意した3つの質問のほか、会場からいただいた7名の質問票、10の質問に応じて7名が発言するなど盛り上がりました。

## 「議員のあるべき姿」など3つの質問に熱い訴え

### ①今回の選挙に立候補される動機

なぜ、議員をめざすのか？あるいは現職の方はなぜ再選をめざされるのか？新人議員としてやりたいこと、再選後に果たしたい重要な課題等についてお話しください。

### ②議会基本条例

明石市議会は2014年に議会運営の最高法規として「議会基本条例」を施行されています。この基本条例制定に先立って施行された「自治基本条例」制定に際しては、議会自らが「議会のあるべき姿」「議員のあるべき姿」を発表されて、議会基本条例策定の基本ベースになっています。議会基本条例とそこに規定されている議会運営のあり方や議員のあり方について、どのように考えられていますか？

### ③議会および議員と市民の関係

議会は選挙を通じて「市民からの負託」によって、行政をチェックし、市民のニーズを的確に把握して政策提言、政策立案をされるとされていますが、議会と市民、議員と市民の関係について、どのように考えられていますか？

### 「市議選と議員」知る機会へ、数々のヒント

初の市議選公開討論会から得たヒントも多い。「多様な候補者のキャラが一堂に会して知る貴重な機会」「市民に接する機会の少ない新人の肉声を聞くのに役立つ」「多人数で相互討議は難しいが、ディスカッションも聴きたい」などの感想も得られた。

## 30議席を40前後で争う

今回の市議選には30の定数（欠員1）に対して40名前後の立候補が予想されています。現職が20名、元職2名、新人が17名程度と見られており、新人のうち6名は現職の所属組織や家族等の後継者だから、新人にとっては、相変わらずの“狭き門”になっています。

討論会の模様は全記録の録画をHPで公開中

<http://shiminjichi-akashi.net/>